

新報

休刊 大衆第一 第三日
定価 五枚二銭、郵税十銭
廣告料 (場所指定十銭増)
発行所 新報社
編集者 尾崎雪麿
印刷所 新報印刷局

感するもの

日本民族の自覚を促す
雲井鏡次

(一) 生きたる者皆階級即ち階級
二才の論者ほど欺きやすい
ものは無い、彼等は何等の
定見確信なく唯珍奇な智
識を求めて止まない。吾等
が自由、平等、博愛等の標
語を世界に發射せるは己
遠き過去に於てであるが之
實行すれば其國家、其家
其人は必ず滅亡すること
知る筈なき彼等は新智識
に浮かる、心地にて之を反
覆し、鵝の如く之を嘲
てゐる、而して之を嘲るも
のには必ず二才の學者又は
識者にして思慮あるものは
容易に口にして、而して世
界の口を閉ざさるるものは
之を口を閉ざさるるものは
之を口を閉ざさるるものは
之を口を閉ざさるるものは

替り小説豫告

目下本紙掲載中の小説血を洗ふは讀者各位より
白熱的喝采の聲に、大團圓を告げる事と
なりましたので本紙は更に精選せる讀物を選
びました結果を三十日夕刊より

聞に閃く男達

高田 涙川 作
尾崎 雪麿 畫

血を洗ふ

高橋 桐太郎 創作
布 施 中 八 郎 揮 毫



政治の秘義にあらざるは深雪の方の父の立原新左工の苦心を語つて聞かせい
何ぞ。我が日本が絶対な門に助けられ道を急いで行
る此の秘義を使命とを有す途中で阪上九郎に對し
るを悟らすして我が日本帝國を以て外國の帝王と
國を以て外國の帝王と國を以て外國の帝王と國を以て外國の帝王と

天祐願かに且つ群かなる
皇土に生れし者且つ自然
大法即ち天則を悟る能はず
却つて我が國を破壊すべ
き目的を以て作製せられた
の外來思想(全部)とせられ
るに制せられ魅惑せられた
るのには實に長大な悲劇を
演じて居る。即ち萬
世一系の王統こそ神政の現
はれにあらざるに何ぞ。天
津日圓の皇座こそ皇座の本

佐藤材木店

常磐線平町 新川町
電話 三三五番

内 地 材	外 材 部
材木各種、羽柄材各種	米松、杉、大角製材調達
建築用材、諸材請負	諸材請負
礦山用坑木、其他諸材請負	

營業報告

株式警備銀行

資本金	1,000,000
準備金	500,000
貸出金	300,000
現金及預金	200,000
負債	1,000,000

決算公告

株式警備銀行

資本金	1,000,000
準備金	500,000
貸出金	300,000
現金及預金	200,000
負債	1,000,000

生花教授

池ノ坊流 生花を懇切丁寧
教授いたします、お遊びが
てら御出で下さい

平町五丁目(釜屋横町)
須藤まよの

石炭とコークスの特長

常磐第一ノ大炭礦タル
磐城炭礦ノ石炭

- 一、目方ノ正確
- 二、品質ノ優良
- 三、配達ノ迅速

平町前 阿部石炭商店
電話 二二七番

耳鼻科専門

大和田醫院
平町前(電一七〇番)

株式警備銀行

東京市日本橋區通油町
電話 三三五番

生花教授

池ノ坊流 生花を懇切丁寧
教授いたします、お遊びが
てら御出で下さい

平町五丁目(釜屋横町)
須藤まよの

木ニ胃腸薬

健康第一
胃腸から

第三區の政戦

佐川氏立候補届

石城、双葉、沼馬の第三区を争はれたクモの子の如く
政友會は昨報の如く南部に
右衛門氏の公選候補を
として決定し、佐川氏を
たのむに、佐川氏は二十
日中に立候補届を提出
し、選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

佐川氏は、選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

選挙戦に必勝を期す
と宣言した。佐川氏は、
選挙戦に必勝を期す
と宣言した。

煙草を禁めて廿年

夢で禁を破つた

白井良助氏取慢談
もうかれこれ二十二年も禁煙
生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

禁煙生活を送ってきた。禁煙が
成功したのは、夢で禁を破
つたからである。

選擧の心得(三)

之れだけは忘れな

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

選挙の心得。選挙は、国民の
権利である。選挙に立候補
する者は、国民の信頼に応
ずる責任を負う。

納豆屋に忠告

平第一級長會で

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

納豆屋に忠告。納豆屋は、
衛生面に注意し、品質を
向上させるべきである。

所員採用

平町駐在スル至誠至勤ノ士ヲ求ム
有志者ハ平町私營團式株式ニ
願書送附セラレタム

東京商業興信所支所

郡山市中町五
電話一〇五五番

時計の進歩! 遂に

振動腕用時計

打付けてもたゞき付ても硝子も毀
れず狂はない
側はクローーム側にて
小形です

製造元 清水屋

石城小名濱町
電話六番

山崎合名會社

電話一〇七〇番
振替東京一九七五番

上野車坂附四三

電話一〇七〇番
振替東京一九七五番

藤沼醫院

内科、小兒科、入院應需

大野國次郎儀

病氣加療中
の處去る十九日午後十時永眠致候
段辱知各位に謹告仕候

虎雄 浩忠

一月二十二日